

北海道議会議員
たけだ 浩光 道政通信

所属会派：民主・道民連合

住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします！

発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031




(北海道HP資料を参考に作成)

前回、まん延防止等重点措置が7/11に終了としながら「夏の再拡大防止措置」期間として対策継続をしたにもかかわらず、3週間後に再度まん延防止等重点措置が発出され、瞬く間に8/2～9/12を期間として「緊急事態宣言」が発出されました。この間を振り返ってみてください。7月の4連休、8月初めの東京オリンピック競歩・マラソン札幌開催、お盆帰省や道内への観光客増等々多くの集客要素が連なっていました。さらに、変異株の急増やワクチン接種の遅れなどを考えれば、おのずと新型コロナ感染者が減らないのは誰もが理解できるのではないでしょうか。

また、常に対策が遅れ、的確な検証もなされておらず、結果、経験を生かせず次に繋がっていないのが現状ではないでしょうか。最近の傾向としては若者の感染増が目立ち重症化する例も増加しており、若年層へのワクチン接種も急がなければなりません。

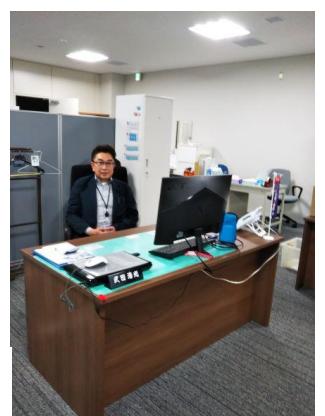
現在、我が会派の「民主・道民連合」としても、知事へ、これらの課題解決に向けた実効性のある対策を求めているとともに、9月14日から開会予定の道議会においては、その他の多くの課題も含め引き続き知事の考え方を追究していきます。

第3回定例会が9月14日から開会予定(武田道議 ⇒ 一般質問に立ちます！)



菅総理は、突然ともいえる自民党総裁選への不出馬を明言し、自ら総理の職を失うこととなった。そんな中、今後、知事の国との対応や道政運営における施策判断や方向性への影響は必至であると考えます。その点も踏まえながら、この第3回定例会では、しっかり知事の考え方を追究していきたいと思います。

- ◆ 新型コロナ感染拡大防止策として大事なのは、人流の抑制だと考えるが、7割削減のためには、平日の昼人口、いわゆる各職場通勤を抑えなければならず、休日には大型商業施設（百貨店等）を抑える必要がある。夜の人流を抑えるには、まず昼の人流を抑えることにより夜人口の減少に繋がると考える。夜ばかりでは…？
- ◆ 災害関係では、豪雨・長雨等による土石流・土砂災害への対応である。コロナ禍における避難所の安全・安心の確保や個所数の確保はどうなっているのか。
- ◆ 原子力防災のマンネリ化。総合防災に合わせているが、新たな防災体制づくりが必要では？
- ◆ その他、医療被曝の問題や福島の放射能汚染水の海洋放出の問題などを中心に一般質問で追究します。



(第3定は予算にとって大事！)・・・実は、次年度当初予算は、第3回定例会で事実上概ね決定されてしまっています。予算は、春から夏にかけて議論され、秋にはほぼ確定状態で、第4定では緊急案件や微調整程度しか審議されません。最終的には年明け第1定で当初予算として議決されます。今しっかりと議論を!!

また台風の季節がやってきます…できる備えを確実に!



近年、異常気象とも思えるような豪雨や長雨が毎年のように発生し、河川の越水・堤防決壊や土砂災害などにより甚大な被害がもたらされています。

これから季節は、台風の発生・接近も懸念される時期となっていくことから、私たちとしても常日頃からの的確な情報収集や迅速な対応と被害を最小限に抑える準備などについて意識を高めておく必要があります。



河川の計画規模と確率年とは?



一般的に、洪水被害発生を防止し、その川が安全に流せる目安となる洪水の規模を計画規模といい、その洪水が発生する確率年で表現しています。例えば、おおよそ10年に一度の確率で発生する洪水規模を「1/10年」と表現しています。「1/100年」の方が当然大きな洪水となります。ちなみに石狩川は「1/150年」で計画されており、S56年の氾濫以降は越水はありません。

胆振東部地震から今年9月で3年が経過

あの全道民がブラックアウトに包み込まれた苦い経験から3年が経過しました。復旧に向け奮闘された北電社員の皆様や携わった方々へ、改めて敬意を表したいと思います。北電によるとブラックアウトの要因であった一局集中を分散化させ、石狩湾新港にLNG燃料による火力発電所を稼働させたり、本州とつなぐ「北本連携線」の送電線容量を大幅に増強するなどして対策を図ってきました。

同時に、むかわ町では大規模な土砂崩れによる多くの犠牲者が発生しました。今、北海道としてもハード分野の復旧は9割り方終わっているものの、これらの経験をどのように生かし、さらにどういった対策がとられ、今後何が必要なのかを改めて確認する必要があるのでは

ないでしょうか。よく、想定外と言いますが、想定外を想定内におくことも必要なではないでしょうか。しかも、このコロナ渦でもし大震災や豪雨等の発生で避難を余儀なくされたら、しっかりと避難所の受け入れ体制や様々な対応が可能な状態なのか、今、検証する必要があると考えます。



土砂災害の前兆に注意!



これらの前兆現象を察知したらすぐに避難することを心がけてください

たけだ浩光プロフィール

【すまい】西区西野（在47年）

1960年 江別市生まれ

その後、すぐ札幌へ

1973年 札幌市立二十四軒小学校 卒業

1976年 札幌市立手稲東中学校 卒業

1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業

1980年 北海道大学水産学部 中退

1985年 北海道大学医学部附属

診療放射線技師学校 卒業

1985年 札幌医科大学附属病院勤務

2019年 北海道議会議員 初当選

国土交通省資料より

本来はこのページにて、シリーズ画第2弾③「戦略としてのワクチン」の予定でしたが、都合により次回に延期することになりましたことをお詫び申し上げます。

e-mail : info@takeda-hiromitsu.com



たけだ浩光オフィシャルWebサイト

たけだ浩光
検索
オフィシャルWebサイトで道政通信の
バックナンバーがご覧になれます

